

# Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2022/06/06

## Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	34.38	0.12
JPY/THB	0.2626	-0.0010
USD/JPY	130.88	1.04
EUR/THB	36.83	0.04
EUR/USD	1.0719	-0.0028
USD/CNH	6.656	-0.001
SGD/THB	24.94	-0.05
AUD/THB	24.78	-0.10
USD/INR	77.63	0.02
USD Index	102.14	0.32

## Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.394	0.000
10Y (THB)	2.978	0.000
5Y (USD)	2.934	0.024
10Y (USD)	2.933	0.026

## Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,845.4	-21.1
WTI (Oil)	118.87	2
Copper	9,499.5	0.0

## Stock

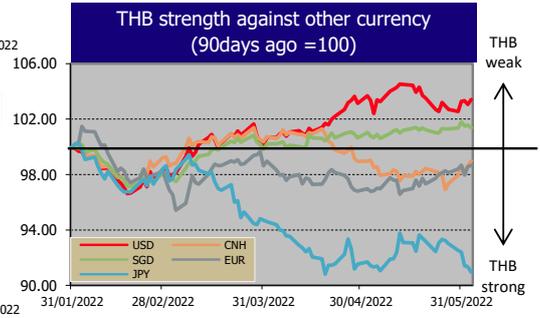
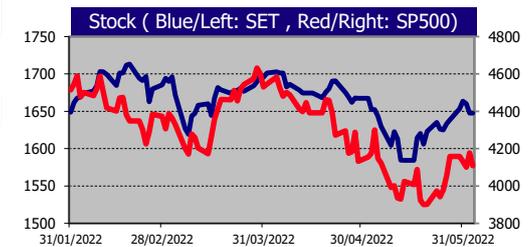
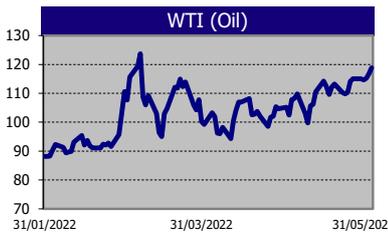
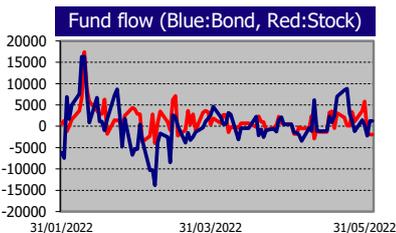
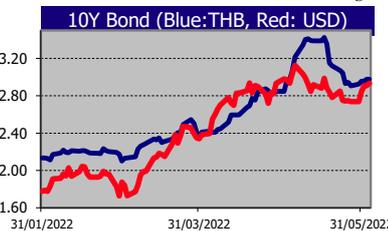
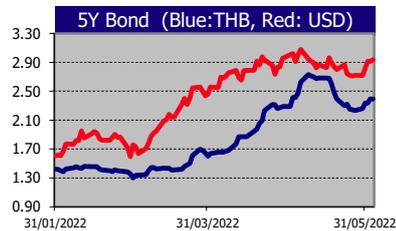
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,647.67	0.00
NIKKEI (JP)	27,761.57	347.69
DOW (US)	32,899.70	-348.58
S&P500 (US)	4,108.54	-68.28
SHCOMP (CN)	3,195.46	0.00
DAX(GER)	14,460.09	-25.08

## Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(1,936)	0.0
Bond net flow	1,222	0.0

\*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



## Yesterday's market summary

### ●ドルパーツ

2日のドルパーツは34前半で取引を開始。世界各国の中銀が引き続き金融引き締めを続けていくとの予想が重しとなり、パーツをはじめ、東南アジア各国の通貨が対ドルで下落し、パーツは日中に10サタンほど上昇。海外時間、米株が大きく上昇するリスクオンの展開にドルインデックスが低下したため、同インデックスの低下とともにドルパーツは1日比パーツ高圏へ下落。3日、タイ休日かつ米5月雇用統計発表を控えて日中は横ばいが続いたが、米5月雇用統計が発表され、米労働市場の堅調さが確認されると、ドル買いに転じて34.38で終えた。

### ●ドル円その他

2日のドル円は130円前半で取引を開始。日経平均が朝方の下げ幅を徐々に縮小し、他のアジア株式市場も堅調に推移する中で緩やかにドル売りが進み、夕刻には129円後半へ下落。その後、海外時間でもユーロや債券に対するドル売りが続き、129円半ばへと下げたが、米雇用統計を翌日に控えて同水準では下げ渋って129.80で引けた。3日は129円後半で始まり、130円にワンタッチした後は再び129円後半で推移。海外時間、米5月雇用統計発表前にドル買いが入って130円を上抜け、同指標が良好と呼べる結果となると更にドル高が進行。米金利上昇にもサポートされ130.88でクローズ。

## Bangkok Dealer's Eye

先週初まではドル売りが続き、一時は1ドル=34パーツを割り込むかというレベルまでドル安が進んだものの、米長期金利の反発や良好だった米5月雇用統計が確認されたことによって34パーツ割れは遠のいています。6月FOMCを前に先週末からブラックアウト期間に入っていますが、ブラックアウト期間入り直前にもFRBブレイナード理事から今後50bpの利上げを複数回行うことは理にかなっていて、9月FOMCで利上げを停止する必要はないという旨のタカ派コメントが出ています。ブレイナード理事のみならず、他のメンバーからもタカ派は発言が続いていたため、再び米利上げ観測が高まっていることで米10年債利回りは一時2.70%近辺へと約50bp低下した後、20bp以上戻して2.90%台と大きな変化を記録しました。米金利市場中心に慌ただしい展開となっていることに加え、今週発表される米5月CPIでも高インフレ圧力が継続していることが確認されるようならば、FOMCを前にドル高が一段階進むのではないかと考えます。(鈴木)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.